

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年06月10日

計画の名称	養父市における下水道効率化による健全運営の実現												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	養父市												
計画の目標	下水道施設の適正な維持管理と下水道事業の健全運営の実現に向けて、効率的な処理区の統廃合を進めることで、安全・安心、快適な暮らしの実現、良好な水環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	545	A	545	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	統廃合計画の対象処理区4処理区について、詳細計画の策定を行い、策定率を0%(H28)から100%(H32)に増加させる。 統廃合詳細計画の策定率 統廃合対象処理区4(処理区) / 統廃合対象処理区4(処理区)	0%	50%	100%
2	統廃合計画の対象処理区4処理区について、統廃合を実施し統廃合率を0%(H28)から50%(H32)に増加させる。 統廃合実施率 統廃合対象処理区2(処理区) / 統廃合対象処理区4(処理区)	0%	%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	養父市	直接	養父市	管渠（ 污水）	新設	熊次処理区 統廃合詳細計 画策定	計画・設計	養父市	■					30		—
	A07-002	下水道	一般	養父市	直接	養父市	管渠（ 污水）	新設	熊次処理区 統廃合工事实 施	中継ポンプ場・管路	養父市		■	■	■	■	295		—
	A07-003	下水道	一般	養父市	直接	養父市	管渠（ 污水）	新設	米地処理区 統廃合詳細計 画策定	計画・設計	養父市		■				7		—
A07-004	下水道	一般	養父市	直接	養父市	管渠（ 污水）	新設	米地処理区 統廃合工事实 施	管路	養父市			■	■	■	80		—	
A07-005	下水道	一般	養父市	直接	養父市	管渠（ 污水）	新設	大屋処理区 統廃合詳細計 画策定	計画・設計	養父市					■	19		—	
A07-006	下水道	一般	養父市	直接	養父市	管渠（ 污水）	新設	口大屋処理区 統廃合詳細 計画策定	計画・設計	養父市				■		12		—	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	養父市	直接	養父市	管渠（ 污水）	新設	大屋処理区統廃合工事实 施	管路	養父市					■	102		—
											小計						545		
											合計						545		

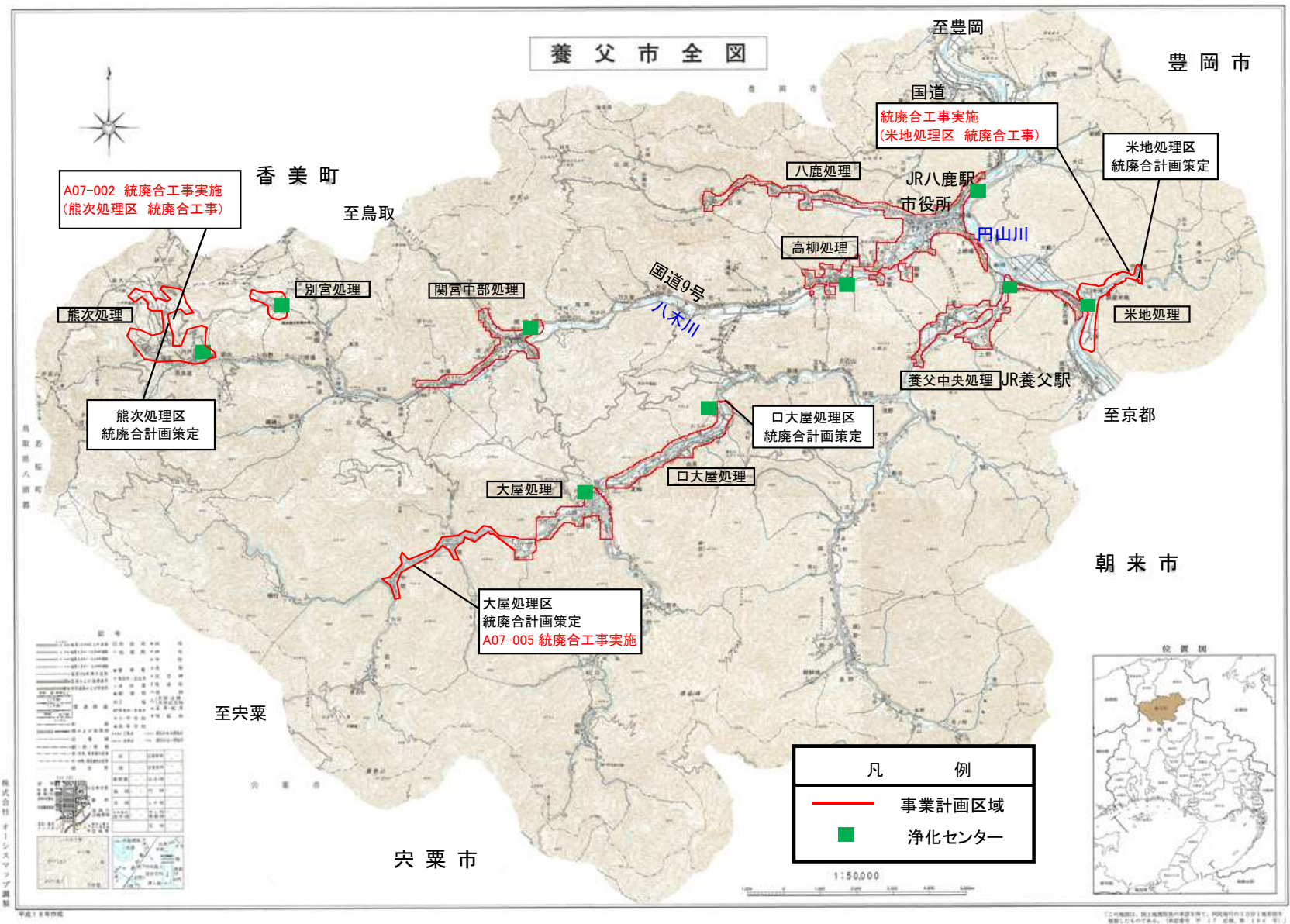
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	15	30	38	30	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	15	30	38	30	
前年度からの繰越額 (d)	0	11	14	35	
支払済額 (e)	4	27	17	49	
翌年度繰越額 (f)	11	14	35	16	
うち未契約繰越額(g)	4	5	0	0	
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	26.66	12.19	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	設備工事において、発注しても機器の調達が見込めなかったため。	工事計画において地元調整に不足の日数を要した			

(参考図面)

計画の名称	養父市における下水道効率化による健全運営の実現		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	養父市



図例

●	浄化センター
■	事業計画区域
○	市界
□	町界
△	村界
◇	学区
▽	支庁界
◇	市界
◇	町界
◇	村界
◇	学区
◇	支庁界
◇	市界
◇	町界
◇	村界
◇	学区
◇	支庁界

株式会社 オースシステムズ 制作



「この地図は、国土交通省国土地理院作成で、国土地理院の許可を得て、掲載したものである。『国土地理院』P.17 地図 第1102号」

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 養父市における下水道効率化による健全運営の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との妥当性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性  
⑦円滑な事業執行の環境

III. 計画の実現可能性  
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。

○

I. 目標の妥当性  
2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。

○